

# 生活者ネット こくぶんじ No.178 2024年10月

発行/国分寺・生活者ネットワーク 発行責任者/田中由紀  
連絡先/〒185-0024 国分寺市泉町3-33-16 西国分寺ハイツ103  
TEL:042-328-1864 FAX:042-328-1878  
http://kokubunji.seikatsusha.me/ E-mail:kokubunji@seikatsusha.net



国分寺市議会議員  
たかせ  
高瀬かおる



国分寺市議会議員  
こさか  
小坂まさ代



国分寺市議会議員  
まつおか  
松岡まり

## 国分寺ネット活動日誌

- 7月1日(月)学習会「土壌について」開催
- 7月5日(金)学習会「有機農業と生物多様性」開催
- 7月9日(火)朝遊説(国分寺駅)
- 7月10日(水)子育てカフェ「学びの場の選択肢について」開催
- 7月12日(金)市民自治研修「地方自治法」参加
- 7月16日(火)朝遊説(国立駅)/プラごみシールアンケートと懇談実施
- 7月18日(木)成年後見制度の学習会開催
- 7月19日(金)組織運営研修参加
- 7月20日(土)市制60周年記念イベント参加
- 7月22日(月)「いのち・からだ・こころのお話」開催
- 7月23日(火)朝遊説(国分寺駅)/居住支援を考える国分寺の会参加
- 7月26日(金)市との石けん利用についての懇談会参加
- 7月27日(土)PFAS学習会参加
- 7月29日(月)「プラごみすごろくで遊ぼう」開催
- 7月30日(火)朝遊説(国立駅)
- 7月31日(水)「ごはんを作って食べるじかん」開催
- 8月2日(金)野川湧水の流量調査参加
- 8月3日(土)「女性と政治と未来ゼミ」参加
- 8月5日(月)子育てカフェ「居場所づくり」開催/市内の農業について学習会開催
- 8月6日(火)「マサーヨがきく」開催
- 8月8日(木)「ホームスタート」事業見学(立川市)
- 8月9日(金)介護保険財政の学習会参加
- 8月15日(木)国分寺市平和式典参加
- 8月17日(土)「国分寺発 地球冒険ミッション」開催
- 8月19日(月)市民連合@国分寺アピール活動参加
- 8月20日(火)朝遊説(西国分寺駅)/「ホームスタート」学習会開催
- 8月21日(水)東京都北多摩北部建設事務所の事業概要説明会開催
- 8月25日(日)NO PFAS未来を拓く市民集会参加
- 8月27日(火)朝遊説(国立駅)
- 8月30日(金)都政フォーラム「ジェンダー主流化」参加
- 9月3日(火)朝遊説(恋ヶ窪駅)
- 9月17日(火)朝遊説(国立駅)
- 9月19日(木)市民連合@国分寺アピール活動参加
- 9月24日(火)朝遊説(国分寺駅)

## 認知症でも自分らしく 「注文をまちがえる料理店」

「注文の多い料理店」  
ではないですよー(〇〇)

2024年9月14日(土)にリオンホールで行われた認知症普及啓発講演会に参加しました。講師は、「注文をまちがえる料理店」プロデューサーの小国士朗さんで、元NHK番組ディレクターでもいらっしゃいます。会場は満席で関心の高さがうかがえました。

さて、「注文をまちがえる料理店」は、注文と配膳をするホールスタッフがみんな認知症のレストラン。「たとえハンバーグが餃子になったとしても、みんなが受け入れれば、間違えはそこにはない」との大発見。そして、間違えることを一緒に楽しむという「寛容さ」や「受容力」をあげることの大切さが話されました。一方で、善意の押しつけではいけない。あくまで料理店として、おしゃれな空間で、ここでしか食べられないおいしい料理を提供し、コミュニケーションを楽しむことを大事にしているそうです。動画をみせていただきましたが、サービスを提供する側も受ける側も、みんなにここを楽しそうにされている姿が印象的でした。

これからの高齢社会では認知症の方も増えていきます。認知症である前に人なんだということを大事に、まちがえても「ま、いっか」と笑える地域づくりを広げていきたいと思います。

(高瀬 かおる)

## 「香害」のパネル展示会

まちづくりマルシェ in 国分寺北口ひろばにて

10/12  
(土)

連携して活動している生活クラブ運動グループの企画として行われた「香害」パネル展に参加。当日は天候もよくたくさんの方が足を止めてお話しの方も広がりしました。洗剤や柔軟剤等の「香り」に悩んでいる人はたくさんいます。「香り」成分は「化学物質」であるため、頭痛吐き気など「化学物質過敏症」を引き起こします。さらに、マイクロプラスチック汚染にもつながる重大な環境汚染を引き起こす要因とされています。生活者ネットでは数年前から市議会で繰り返し

問題を指摘し、市報やホームページ掲載、ポスター掲示などで市民への周知、相談体制などを提案してきました。今議会では高瀬かおるが質問。小学校の給食の臭いが辛いとの声から、予防原則の視点で対策を取るよう提案。市からは、「養護教諭と問題を共有し対応を探る。持参した給食着を使用したい場合は各学校の判断になるが衛生基準を保つうえで使用いただく。また、相談しやすい体制づくりに努める」と一歩進んだ答弁がありました。引き続き求めていきたいと思えます。



このレポートは、UDフォントを使用しています。

## マイナ保険証 持たなくても受診できます!!

12月2日から、マイナ保険証しか使えなくなると思っています。政府は、12月2日以降、「健康保険証を廃止し、マイナンバーカードに一体化すること」をしています。しかし実際には、12月2日以降も手元にある健康保険証は有効期限まで使えます。さらにその後も、マイナンバーカードをもっていない人やマイナ保険証の利用登録をしていない人には、自動的に資格確認書が郵送されます。この資格確認書は健康保険証と同等に使用できるものです。国が行う情報提供は、「健康保険証の廃止」と「マイナ保険証での受診」を強調するもので、「マイナ保険証の利用しにくい」と誤解させ、問題です。

### 強制ではない マイナ保険証

そもそもマイナンバーカードの取得やマイナ保険証の利用は、あくまでも任意であり、強制されるものではないにもかかわらず、現在の健康保険証が使えなくなることで、マイナンバーカードをめぐる問題は、多くのトラブルが続く。マイナ保険証においても、他人の情報が登録されるなど混乱しました。セキュリティの問題だけでなく、マイナンバーカードにさまざまな個人情報や紐づけられることで、国による管理が強化されることを心配する声も多くあります。最近では、警察庁はマイナンバーカードと運転免許証

### 利用するなら安全に

現行の健康保険証は、月一度の窓口提示で済みますが、マイナ保険証は受診のために、カードリーダーの操作が必要で、しかも、カードリーダーが起動しない、顔認証ができず、暗証番号を忘れてしまった、情報の紐づけミスがあるなど医療機関でのトラブルが多発していることから、現行の健康保険証も持ち

### 医療体制の保障を

一方、医療機関にとっては、オンラインシステム導入のために多額の設備投資と毎月

の維持管理が必要となります。そのため、全国で病院や診療所、歯科医院の廃業が増加しているという事です。また、資格確認書発行に伴う行政の事務量の増加が懸念されています。日本の優れた制度であり、国民全員を公的医療保険で保障している「国民皆保険」のもと、誰もが安心して受けられる医療体制を維持していくことが必要です。地域医療を守る視点が重要です。

(高瀬かおる)

現行の紙の健康保険証の継続を!

